

WITH DOCTOR'S ADVICE

腔内環境改善 アドバイスシート



お名前 : 福本 飛鳥 様

検体番号 : REG-V-0072

検査日 : 2023/08/27

MB解析士 :



ドクターからのアドバイス

赤文字があなたへのコメントと評価です

担当医： 松岡 和子

産後エストロゲンが低い状態であるため膣炎などの症状が起きやすい可能性があります。困る症状が持続するときは婦人科で相談してみることをお勧めします。

(抗生剤で軽快しないのは膀胱炎だったのかどうか？症状諸々は授乳中でエストロゲンが低いからだと思います)

以上がドクターからのアドバイスになります。

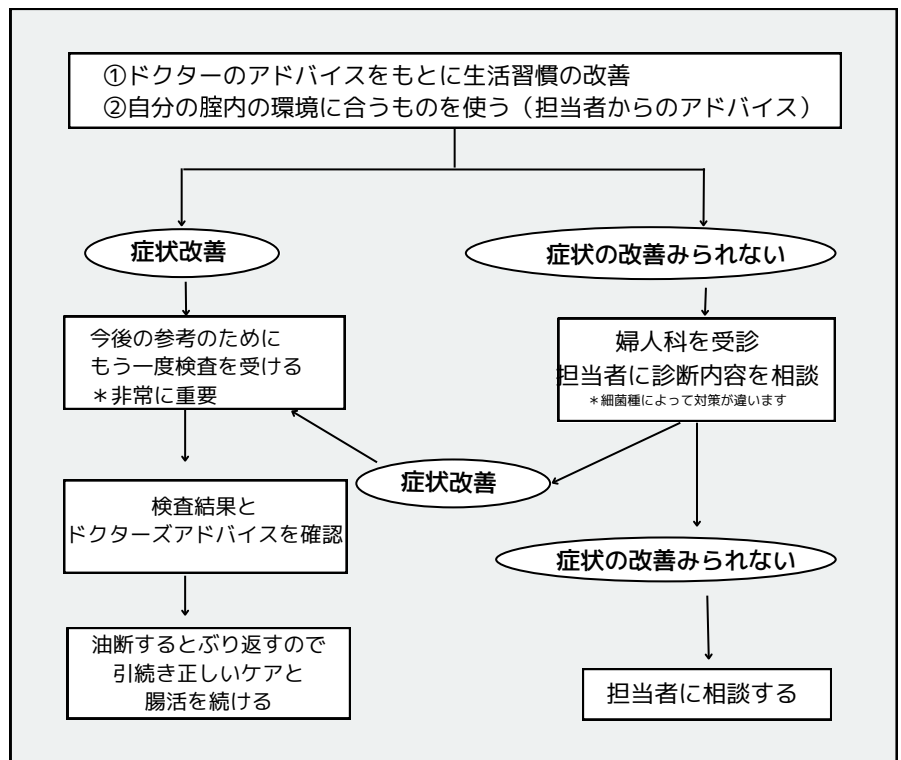
膣内環境評価

膣タイプ	C
ラクトバチルス割合	C
BVリスク菌割合	B
メディアムリスク菌	C
要注意細菌	B
その他の詳細	B

A：良好 B：改善点あり C：早急に改善必要

ラクトバチルスとエストロゲン入りのデリケートゾーンケア商品で正しくケアしましょう。下記の習慣も確認してください。

膣内環境改善のための流れ



デリケートゾーンの不快感を呼ぶ習慣	習慣改善後に 婦人科受診が必要な症状	可能性のある疾患
- 過度な洗浄や強い洗浄剤の使用 - 長時間のタンポンやナプキンの使用 - おりものシートの使用 - 通気性の悪い下着やタイトな衣服の着用 - 頻繁な性的活動や異なるパートナーとの性行為 - 栄養や水分の不足 - ストレスや心の健康	- 慢性的なかゆみや炎症の継続 - 異常なおりものの増加や異臭 - 痛みや腫れの持続 - 尿路感染症の頻発 - 性行為時の痛みや不快感の継続	- カンジダ症：膣内のバランスを崩し、かゆみやおりものの増加などの症状を引き起こす - 細菌性膣炎：膣内の細菌バランスの変化によって引き起こされ、異臭やおりものの変化が見られる - 性感染症：性的接触によって感染する病気で、痛みや不快感、異常なおりものなどの症状が現れる - 閉経後は萎縮性膣炎・尿路感染症・乾燥性膣炎・膣脱など、様々な疾患がある